2026年度　大学院入試問題の出題意図

教職実践高度化専攻　2月1日（日）実施

教科・科目等名	専門試験
出題責任者氏名	

出題意図

大問1

学習指導要領の総則において、学習指導と関連付けながら生徒指導の充実を図ることが示され、「学校教育において、生徒指導は学習活動と並んで重要な意義をもつものであり、また、両者は相互に深く関わっている」と示されている。生徒指導提要の改訂版においても「学習指導と生徒指導の関連を意識しながら、日々の教育活動を充実させていくことが重要」と示されている。これらのことについて総合的に考察し、その理由について述べることができるのかを評価したい。

また、受験者が自身の担当する教科において、学習指導と生徒指導を関連付けた指導案を作成することについて問うことにより、求められている教育の方向性を理解し適切に説明できるのかについて評価したい。

大問2

OECDの生徒の学習到達度調査（PISA）などにおいて、日本の子供たちの生活への満足度などの質問に対する肯定的な回答の低さが課題としてあげられることがあり、第4期教育振興基本計画では「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」について、学校教育を通じて向上させていくことの重要性が示されている。このことから家庭・学校・社会の視点から要因を考え、学校での具体策を構想することができるかについて問うことをとおして、教育や教育を取りまく課題の理解のもとで、受験者が課題解決に向けた今後の実践活動の方向性を、具体的に描くことができるかについて評価するため。